

I

数学・情報工学・経営工学・数理物理などを 専攻しているみなさんへ

厚生労働省は、子どもからお年寄りまで、皆さんのあらゆる生活の場面で安心や安定をもたらす自立を手助けすることを主な業務とする国の機関です。

現在の我が国は、少子・高齢化、産業構造の変化、就業形態の多様化が同時に進行する状況にあります。そういった中で、厚生労働省は、労働者の働く環境の整備や人材の育成を行い、年金・医療・介護といった社会保障の仕組みが持続可能なものとなるよう、様々な課題に取り組んでいます。

これらの分野は、日常生活に密接に関係していることに加えて、その経済規模も非常に大きなものとなっており、例えば、社会保障給付費は100兆円を超え、GDPの2割以上の水準に到達しています。

このような厚生労働行政の企画立案を行うにあたっては、我が国経済や国民生活に多大な影響を与えるものであることから、しっかりした『科学的根拠』に基づいていることが不可欠です。その際には、数学や数理科学の専門知識が駆使されると同時に、数理的な感性が極めて重要となる場面が多くなっています。このパンフレットで紹介する我々、数理職の業務を見れば、その重要性はご理解いただけると思います。

また、厚生労働省は事務系、技術系、地方自治体からの出向者など、多様な人材が働いています。様々な専門性を持った職員がお互いの専門性を活かしながらチームとして日本の課題に取り組んでいます。このような職場環境も厚生労働省の魅力の一つです。

厚生労働省では、『国家公務員採用総合職試験』の「数理科学・物理・地球科学（院卒者試験及び大卒程度試験）」の合格者から毎年採用を行っています。

数学や数理科学に関連する分野の素養を持ち、かつ、広く社会に眼を向け、人々の職場の確保や社会保障の充実といった課題に取り組む意欲を持っている方、そして何よりも国民のために働いてみたいという志を持った方は、是非、本パンフレットに目を通してみてください。



厚生労働省年金局数理課長 武藤 憲真